



東方経済フォーラムニュース

2016年7月17日 リアノーボスチ、インタファクス、ロシースカヤ・ガゼタ、E-today、CNBNews、時事通信

第二回東方経済フォーラムのビジネスプログラムが発表された

ビジネスプログラムの「投資メリット」という最初のテーマティックブロックで、極東地域の投資先としての潜在力とビジネス環境を紹介する。極東地域経済の新しいメカニズムの最初の成果と将来の見通しを参加者たちは、「投資家向けの優遇措置」というブロックの枠内で審議する。討論の三番目のテーマになるのは、「アジア太平洋の利益と新たな可能性としての極東開発」である。ロシア極東の競争力、ロシアへの外資の誘致、エネルギーと交通分野での協力の問題も紹介される。

フォーラムでは、ロシア・中国、ロシア・韓国、ロシア・ASEAN、露日フォーラムというビジネス・ラウンドテーブルの開催が予定されている。

フォーラムの場では、ロシア極東地域かつ中国北東地域の知事フォーラム、「東方のベクター」諮問委員会の会議、ロシア・ASEANの大学サミット、APECの教育議会と露中投資協力委員会の会議が予定されている。

EEFビジネスプログラムの詳細は、公式サイト <http://forumvostok.ru/programma/>

2016年7月12日 リアノーボスチ

「ルスギドロ」と三井物産は東方経済フォーラムで「ロシア・日本エネルギーブリッジ」の新しい金融モデルをプレゼンする

これは、ロシアのアレクサンドル・ヤノフスキー・エネルギー副大臣と一般社団法人ロシアNIS貿易会村山滋会長の会合の結果明らかになった。

日本側は、エネルギー分野でロシア企業との協力の拡大に関心を表明した。 <http://ria.ru/economy/20160712/1464661490.html>

2016年7月16日 リアPrimaMedia

取引所とオークション経由の魚類輸出に関する最初の協定を東方経済フォーラムで著名する

そのブローカー予備協定を「極東魚類オークション貿易会社」は、中国の「ダウンガン・ジュンゼン・グループ」と締結した。著名式には、ロシア沿海地方と中国遼寧省の両副知事が参加した。本格的な協定をEEFで著名する予定。

魚類と水生生物資源の輸出を含む販売で取引所とオークションのメカニズムの使用は、プーチン大統領が連邦法「取引所取引について」に修正を加えた後可能になった。その修正は外国の法人に取引所取引での参加を許容する。

<http://primamedia.ru/news/economics/12.07.2016/517967/pervoe-soglashenie-po-eksportu-ribi-cherez-birzhu-i-auktsioni-podpishut-na-vef-vo-vla.html>

2016年7月16日 minvostokrazvitia.ru

東方経済フォーラムで露日ラウンドテーブルを開催する

東方経済フォーラムの枠内で開催する露日ラウンドテーブルへの準備は、アレクサンドル・ガルシカ極東開発相と一般社団法人ロシアNIS貿易会（ROTOBO）会長兼川崎重工業社長の村山滋との会合で審議された。

村山氏が指摘したとおり、ラウンドテーブルで日本側のパートナーになるのは、社会貢献団体「実業ロシア」である。

ROTOBOの代表者たちは、日本の業界が東方経済フォーラムに大きい関心を寄せていると指摘した。http://minvostokrazvitia.ru/press-center/news_minvostok/?ELEMENT_ID=4444

極東におけつ国家政策

2016年7月15日 minvostokrazvitia.ru

サハリン州はコルサコフ市における自由港の創設の準備を進めている

コルサコフにおける自由港の実現は、州政府が開催した会合でセルゲイ・カチャエフ極東開発副大臣の司会の下で審議された。

最近大統領は、「連邦二法『ロシア連邦における優先的社会経済発展区域について』と『ウラジオストク自由港について』の修正に関する法」を著名した。自由港の資格をコルサコフ都市区を含めて四つの主要の海港がもらった。

サハリン州では近い将来、自由港投資家を対象とする税制面での優遇措置、つまり、収益税と資産税（地域レベルで）、土地税（都市レベルで）を導入する予定。http://minvostokrazvitia.ru/press-center/news_minvostok/?ELEMENT_ID=4455

2016年7月14日 minvostokrazvitia.ru

ロシア極東の国境隣接する地区発展の計画が承認されている

ユーリ・トルトネフ氏は、極東連邦管区に所属する国境隣接地区発展構想実現に関する措置の計画を承認した。計画の性質を持つこの書類を、ロシア連邦極東開発省と関係がある連邦当局、地域当局が協力して策定した。

計画は、福祉、インフラ、経済の個別の分野、投資先としての潜在力、国際協力などの発展を狙う55の項目からなる。http://minvostokrazvitia.ru/press-center/news_minvostok/?ELEMENT_ID=4448

2016年7月14日 ロシースカヤ・ガゼタ、リアノーボスチ、プライム、タス通信、ビジネスFM

モスクワで「ロシア極東発展の新しいツール」という題名のブリーフィングが開催された

ブリーフィング参加者は、優先的発展区域（TOR）、ウラジオストク自由港、投資プロジェクトの税制面での特惠と国家によるインフラ支援のような極東発展メカニズム導入の中間的な成果を総括した。

たとえば、初期の年に12のTORが創設され、ユダヤ自治州における13目のTORの創設は承認され、ウラジオストク自由港環境の形成が承認された。先週施行された法律のおかげで、さらに極東地域の五つの重要な港湾は「ポルト・フランコ」の資格を取得した。

極東開発省の代表者たちは、そのすべてのメカニズムの最適化の方法を指摘し、投資計画実現のサクセスストーリーを紹介してきた。<https://rg.ru/2016/07/14/reg-dfo/ozvucheny-kliuchevye-temy-vostochnogo-ekonomicheskogo-foruma-2016.html>

2016年7月13日 EastRussia

「極東1ヘクタール法」施行より沿海州住民からは700以上の土地貸与申請が提出

現時点土地は沿海地方のハンカ地区だけで貸与されている。ハンカ地区は、パイロット地区に選ばれたからである。公務員達は、しかるべき期間内にすべての難しい問題を解決し、土地貸与のメカニズムをを仕上げる予定。

とにかく、「極東1ヘクタール」の土地を他の地区で貸与する申請書があるが、しかしそれは2016年10月1日からはじめて可能になる。<http://www.eastrussia.ru/news/dalnevostochnyy-gektar-primortsy-berut-dlya-pchelovodstva-stroitelstva-doma-i-predprinimatelstva-gub/>

2016年7月12日 EastRussia

ユーリ・トルトネフ氏：極東を去る必要はないことを人々は理解する必要がある

ユーリ・トルトネフ氏のインタビュー：日本と中国のEEFへの参加予定、ロシア・中国ビジネス協力と極東開発

「極東では現在、雇用創出が約束される200以上の企業の国家支援による建設が進んでいます。極東を去る必要はないことを人々は理解する必要があります。このような転機が今年に発生しており、ここを去る人々は益々減り、10分の1の減少となっています」とトルトネフ氏が語った。<http://tass.ru/opinions/interviews/3403266>

ロシア極東の経済

2016年7月15日 Vladnews

国際運送回路「沿海1号」と「沿海2号」の創設はロシアにも、中国にも有利

国際運送回路「沿海1号」と「沿海2号」の創設の面での協力の見通しをアレクサンドル・ガルシカ極東開発大臣は、露中報道関係者と検討した。

「中華人民共和国国家発展改革委員会と協力しています。これは、双方にとって有利なプロジェクトです」と大臣は強調した。ガルシカ大臣によると、McKinsey社の評価で、中国側は貨物運送で10億ドル以上節約できる。中華人民共和国国家発展改革委員会は、その数字を確認した。プロジェクト実施の結果、三千ぐらいの雇用が創出され、沿海地方経済は4%成長する見込み。<http://vladnews.ru/2016/07/13/109070/realizaciya-mtk-primore-1-i-primore-2-vygodna-rossii-i-kitayu.html>

2016年7月15日 PrimaMedia

ウラジオストクにおける「アルロサ」社のダイヤモンド販売施設は8月22日に取引を開始する

取引は、9月3日まで続き、その総括は東方経済フォーラムの枠内で行われる。

「アルロサ」社のダイヤモンド原材料の販売は、ズベルバンクの極東連邦大学支店で行われる。

さらに、EEFのズベルバンク支店で「アルロサ」社ダイヤモンドの見本市の開催が予定されている。<http://primamedia.ru/news/economics/15.07.2016/518792/almaznaya-torgovaya-ploschadka-alrosi-vo-vladivostoke-nachnet-rabotu-22-a.html>

2016年7月15日 リアノーボスチ

ヤクーツクとマガダンを結ぶ街道で遠隔通信総合施設を建設

コリイマ州のウラジーミル・ペチョーヌイ知事は、第三マガダン投資・通商・産業見本市の場で、「コリイマ」街道沿いの遠隔通信総合施設の建設に関する価格10億ルーブルの協定を著名した。

建設関連の作業に取り組むのは、NPO（科学的開発・プロダクションセンター）「インプルス」である。プロジェクト実現の結果、サハ共和国（ヤクート）とマガダン州の遠隔地で高速インターネットと電話通信および移動体通信へのアクセスは可能になる。施設の引渡しは、2016年の9月～10月に予定されている。<http://ria.ru/economy/20160715/1466427014.html#ixzz4EkFji06m>

極東発展を目指す新しい措置：成功の実例

2016年7月14日 minvostokrazvitia.ru

「コムソモリスク」優先的発展区域で木材を加工する

ロシア極東開発公団は、有限会社「カルボン」と「コムソモリスク」優先的発展区

域における活動に関する協定を署名した。

ハバロフスク州経済への投資額は、161百万ルーブルになり、さらに60の雇用が創設される。

投資家は、「アムルリトマシュ」社の敷地内で、急速熱分解法（非含気燃焼法）に基づく木材廃棄物加工施設を配置する。同方法は環境に悪影響を与えない。http://minvostokrazvitia.ru/press-center/news_minvostok/?ELEMENT_ID=4453

2016年7月13日 コメルサント紙

有限会社「沿海州産金社」は金の採掘に822百万ルーブルを投資する

ウラジオスク自由港のテナント先駆者の一つである有限会社「沿海州産金社」は、沿海地方のパルチザンスキー地区にある「ゾロトイ」産地の開発に822百万ルーブルを投資する予定。現在沿海地方で毎年ほぼ90キロの砂金を採掘する。一方沿海地方地下資源局では、将来性があるにしても、十分研究されていない鉍石産地が話題になっているようだ。エキスパートによると、沿海地方は、戦略的に重要な鉍石の地質調査の過剰重視の犠牲者になった。「沿海州産金社」の計画のおかげで地域は、その金採掘の産地としての地位を強化できるそうだ。

「多くの方は、それが意外だと思えますが、我々の研究が明らかにしたとおり、沿海地方は金の資源に富んでいます。ですから投資プロジェクトのアイデアは当たり前でした。一方、その分野は、多額の資金を要するため、税制面での優遇措置とウラジオスク自由港テナント企業の地位が確保する当局の支援は、プロジェクト実現の加速化を可能にします」と極東開発省は有限会社「沿海州産金社」のアレクサンドル・ベレスチャンヌイイ総裁の発言を引用した。<http://www.kommersant.ru/doc/3036563>